

テキサス州西部地区連邦地裁のオルブライト判事が今夏に退任意向

2026年4月28日
JETRO NY 知的財産部
蛭田、赤木

テキサス州西部地区連邦地裁のアラン・オルブライト判事が、本年8月末に退任する意向であると複数のニュースサイト¹が報じた。同判事の退任後は、特許訴訟担当の弁護士として、法律事務所での活動が想定されている。

オルブライト判事は、審理日程を比較的短く設定し、訴訟の停止・移送を認めないなど、特許権者（原告）にとって有利な訴訟指揮をする判事として知られる。同判事は、テキサス州西部地区ウェーコ支部在籍時、同支部唯一の判事として多数の特許訴訟を担当しており、2021年には米国の特許訴訟の約4分の1が同支部に提起される状況にあった。

このような背景の下、2022年7月25日以降は、ウェーコ支部に提起された特許訴訟をテキサス州西部地区内の12名の判事に無作為に割り当てる運用が採用される²など、同判事存在が米国の特許訴訟の裁判地選択に大きな影響を与えていた³。

2021年度から2025年度の主な訴訟地区における特許訴訟提起件数の推移は、以下のとおりである⁴。

	2021	2022	2023	2024	2025
(参考) 全体	4,024 件	3,896 件	3,259 件	3,638 件	4,422 件
テキサス州東部地区	453 件	471 件	542 件	1,016 件	1,266 件
デラウェア州地区	855 件	781 件	475 件	392 件	501 件
テキサス州西部地区	920 件	911 件	607 件	379 件	483 件
イリノイ州北部地区	144 件	196 件	207 件	345 件	410 件

2024年度以降、特許訴訟に精通した判事が比較的多く在籍し、特許権者（原告）に有利な訴訟指揮が執られるとされるテキサス州東部地区における特許訴訟提起件数が大幅に増加している。

米国の知的財産関係者からは、オルブライト判事の効率的な訴訟指揮・手法が同判事の退任後もテキサス州西部地区において引き継がれる可能性を指摘する声がある。しかしながら、同判事の退任が、今後の特許訴訟における裁判地選択に影響を与える蓋然性は高いとみられている。

(以上)

¹ Bloomberg Law (2026年4月21日付記事) など

² https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2022/20220729.pdf

³ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnews/us/2023/20230822.pdf

⁴ <https://www.uscourts.gov/statistics-reports/caseload-statistics-data-tables>
各年度の Table c-7 から、2025年度の訴訟提起件数が400件以上の上位4地区を抽出。